



☆高1班の校外学習『けやきウォーク前橋に行こう』より

高1班では、5月『先輩の進路先訪問』と11月『けやきウォーク前橋に行こう』の2つのテーマで校外学習を実施しました。〔5月の(株)アムコ訪問については、「キャリア教育だより号外②」にて紹介済み〕

『けやきウォーク前橋』では「学校外で、自分たちでやってみる、経験値を増やす」ことが目的でもありました。これは卒後の豊かな生活にもつながります。特に、以下の項目について生徒が主体的に計画を立て、実行する過程を重視しました。

- ・「目的地までの移動手段」
- ・「目的地でしたいこと」
- ・「食事や買い物の場所」
- ・「自分にとって必要な支援を事前に洗い出し、当日は自分で支援を依頼する」 など

話し合いや当日、教師は言葉かけや助言を慎重に行い、生徒主体となるようにしました。話し合いの中で、前橋駅前の客待ちタクシーがあるから予約しないと決めたAさん、一方、福祉タクシーを予約しておくことにしたBさんと、それぞれの意思決定に基づいて行動しました。帰校後の達成感に満ちた2人の表情や、振り返りの感想から様々なものが見えてきます。以下に感想（抜粋）と写真で御紹介します。



【Aさん】

電車の利用では、乗車のためのスロープを事前に駅員さんをお願いしておかなければならないので、それが大変だと思いました。前橋駅からけやきウォークまでの移動にタクシーを利用して、今日利用したバンタイプのタクシーは、手すりがいやすくてとても乗りやすかったです。

昼食で、ご飯の量が少なくなった時に集めるための小皿があると便利だったので、今回はお店で借りました。教室で使っている滑り止めシートがあれば食器が滑らずに食べやすいと思ったので、次回からは使えるようにしたいです。

今回の校外学習を通して、誰かと車椅子で遊びに行く時に、移動はどうか、食事はどうかということが大体わかりました。これからの生活にとっても生かせそうです。

【Bさん】

電車の利用では、去年初めて自分で乗った時よりもスムーズに利用することができました。券売機で切符を購入すると時間がかかってしまうので、チャージ済みの Suica を準備しておいてよかったです。車椅子での乗車スペースは、電車の入口付近にあるので、車椅子が利用者の出入りの妨げになりそうなのは不便だと感じました。

初めて福祉タクシーを利用しました。車椅子のまま乗車することができ、乗務員さんに介助をお願いすることができたので、とても楽でした。一人で外出する時も、付き添いなして大丈夫かもしれないと感じました。普通のタクシーと比べて介助料金がかるものの、一人で利用できることに価値を感じました。昼食のときドリンクバーを利用し、普段は私の分を家族が用意してくれますが、今回初めて自分一人で利用しました。充実感がありました。紀伊国屋書店で探している本の場所を店員さんに尋ねることができたのは、自分にとって大きな成果です。無印良品のレジはお金の投入口が利用しやすい場所にあり、便利でした。公共交通機関や公共施設の利用については年々不安が減って、楽しむ余裕が生まれてきたように感じています。今回は自分で支払いを体験することができ、自信を深めることができました。



スロープの準備や必要な支援を
駅員さんにお願いしました



手すりやつり革があって
乗降しやすいタクシー



小皿を借りて食べました



ドリンク片手にピース



領収書発行を手伝ってもらいました
(タッチパネルは手の届かない高さ)



乗務員さんの介助があって
安心の福祉タクシー



ドリンクバーを
操作し、好きな
飲み物を注げて
経験値がアップ
しました

ちょうどよい高さの
セルフレジ

